

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム荒子の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ・町内会に加入し、回覧板を介して事業所の情報を発信したり町内の情報を得ている。入居者と一緒に周囲のゴミ拾いや草取りなどを積極的に行っている。 ・餅つきや盆踊り、運動会など町内の行事に参加したり、夏祭りやクリスマス会など事業所の行事に子供会や地域の方々を招いて一緒に楽しむようにしている。また、小学校の作品展に作品を出展したり、近くの美術館に出かけるなど地域との交流を深めている。 ・体験学習の受け入れや認知症の理解を深めるための講習会などの講師を務めている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ・家族や入居者、民生委員、町内会や子供会の役員、近隣の薬局代表者、東部いきいき支援センター職員の参加を得て年6回定期的に開催している。 ・事業所の見学や手作り食事の試食会を行い生活状況を理解していただく機会を設けたり、情報交換などホームの運営に関する事項を活発に審議し運営に反映させている。 ・認知症の理解や看取りなどをテーマに話し合いをしたり、医療や介護などについて相談を受けたりして地域へのサポートも行っている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） ・代表者が医師で認知症専門医学会の役員をしているので、行政と連携を積極的に行っている。また、介護事業所連絡会で包括支援センター職員との情報交換もしている。 ・代行申請等には入居者と一緒に行政に出向き、手続きをしたり情報交換を行っている。 ・行政や包括支援センターの研修会に参加し、協力関係を築くようにしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ・家族の面会や行事の折りに積極的に意見や意向を聞き、ミーティングなどで検討しケアに反映させている。玄関に意見箱を設置したり家族アンケートを年1回行い、委員会で検討をして運営に反映させている。 ・写真や手紙を添えたホーム便りを発行したり、家族のニーズを把握してメールやラインで日常の様子や情報を発信し、家族からの反響を得ている。また、ホームページでも日々の情報を提供している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				